

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループを取巻く経営環境は、世界経済の減速に加え、わが国経済においても景気は先行き不透明な状況で推移しております。

このような情勢の中、当社グループは、当期を初年度とする新中期経営計画「Global Challenge 2010」を策定し、長期ビジョン目標の達成に向けた取組みをスタートさせました。

ここに当社グループの中間期（第2四半期連結累計期間）の概要をご報告申し上げます。

売上高前年同期比増収・減益

売上高は油圧機器の伸びに牽引され、前年同期比27億円（3.3%）増加し、868億円となりました。営業利益につきましては、原材料価格の高騰と一部の品質問題対応の影響を受け、前年同期比14億円（15.0%）減少し、82億円にとどまりました。

戦略的な成長投資と財務健全性の確保を推進

これからの景気見通しは、金融危機による世界経済の減速や為替の変動、原油・原材料価格の高止まり、金利動向等のリスクが懸念されますが、今後につきましても、戦略的な成長投資、財務健全性の確保、株主還元のパラメータを考慮した企業収益の適正な配分を基本とし、新中期経営計画最終年度（2011年3月期）に連結ベース配当性向30%を目指してまいります。



当中間期の業績ハイライト

①売上高 868億円 前年同期比 **3.3%増**

営業利益 82億円 前年同期比 **15.0%減**

②一株当たり中間配当金
前年中間期より1円増配の**9円**

平成20年12月

代表取締役社長

松本和章

■ 企業理念

ナブテスコは、独創的なモーションコントロール技術で、
移動・生活空間に安全・安心・快適を提供します。

■ ナブテスコの約束

1. 世界のお客さまとの親密なコミュニケーションを大切にします。
2. 一人ひとりのチャレンジ精神と変革意識を大切にします。
3. 利益ある成長を続けます。
4. 高い透明性と倫理観を持ち続けます。
5. 地球環境に配慮し、地域・文化との調和を図ります。

■ 長期ビジョン(2015年3月期の姿)

社会とともに成長するグローバル企業集団
～ 挑戦、創造、そして飛躍へ～

問題解決を行うプロフェッショナル集団となる

一人ひとりが、チャレンジ精神に富み、業界トップレベルの人材となる
社員全員が誇りと満足感を持って仕事をしている

スピーディでフレキシブルな組織風土を持つ

事業環境の変化に即応した決断と行動ができる
豊かな発想をすぐに行動へ移すことができる

独自のモーションコントロールをコア技術とし、 システムインテグレーション能力により、商品を提供する

顧客のニーズを先取りし、新技術の開発や固有技術の深化によって、
新商品を創出し続ける

2015年3月期経営目標

売上高 2,600億円
営業利益 360億円

ナブテスコの成長戦略

ニッチな市場でお客さまが抱えた問題を、

ナブテスコの差別化技術で

解決へと導きます。

その信頼に応えながら、

ナブテスコはお客さまとともに

成長していきます。

Nabtesco

■ 連結中間決算の概要

当中間期における世界経済は、昨年発生したサブプライムローン問題が米国のみならず国際金融市場の混乱を招き、減速が明らかとなりました。

一方、わが国経済も、世界経済の減速に加え、株式・為替市場の変動及び原油・原材料価格の高騰などにより、景気は先行き不透明な状況で推移しました。このような状況の中、当中間期の連結業績は、売上高は油圧機器の伸びに牽引され、前年同期に比し増加しました。営業利益、経常利益及び中間純利益につきましては、原材料価格の高騰と一部の品質問題対応の影響を受け、減益となりました。

なお、品質につきましては、「品質はお客様との信頼の証」であると考えており、高品質達成のための仕組みづくりや、設計品質向上のための「品質大学」を設立するなど品質向上に努めております。

● 売上高及び営業利益について

当中間期の売上高は前年同期比2,755百万円(3.3%)増加

し、86,813百万円となりましたが、営業利益は同1,446百万円(15.0%)減少し、8,201百万円にとどまりました。売上高営業利益率は同2.1ポイント減少し、9.4%となりました。

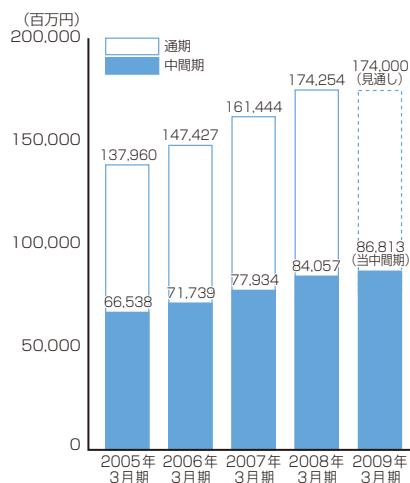
● 中間純利益について

当中間期の中間純利益は前年同期比1,037百万円(17.6%)減少の4,853百万円となりました。

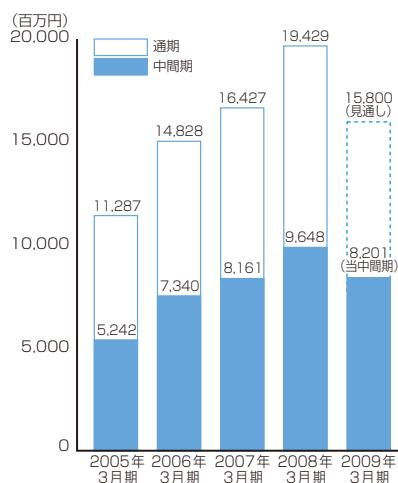
特別利益は土地等の売却により73百万円、特別損失は関係会社整理損及び投資有価証券評価損等により652百万円となりましたが、前年同期に退職給付制度移行損失473百万円を計上していたため、前年同期比40百万円の増加となりました。以上の結果、税金等調整前四半期純利益は8,354百万円と前年同期比1,324百万円の減益となりました。

法人税等は前年同期比414百万円減少の2,853百万円となり、少数株主利益は連結子会社の増益により、前年同期比127百万円増加の646百万円となりました。

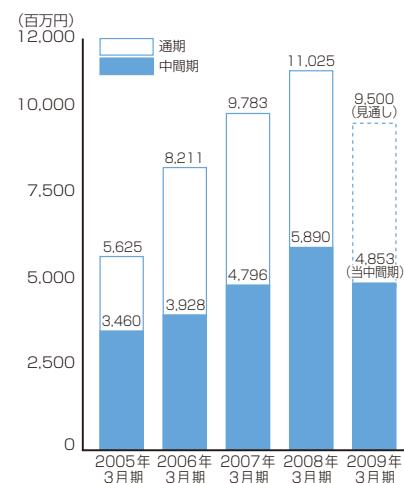
【売上高】



【営業利益】



【中間(当期)純利益】



精密機器事業

精密機器事業の売上高は前年同期比6.0%増加の163億円、営業利益は同14.3%減少の20億円となりました。

精密減速機は自動車メーカーの設備投資に繋がりましたが、産業用ロボット向け及び工作機械向けの売上が伸長したため、増収となりました。

営業利益は原材料価格高騰の影響と、一部の品質問題対応により、前年同期比減益となりました。



航空・油圧機器事業

航空・油圧機器事業の売上高は前年同期比8.4%増加の302億円、営業利益は同11.4%増加の27億円となりました。

油圧機器は中国をはじめとした新興国市場における建設機械の旺盛な需要と、風力発電の世界的な伸びに支えられ、増収となりました。



航空機器は民間需要が前年同期並みに推移したものの、防衛需要が減少したため減収となりました。

当事業は為替変動の影響を受けましたが、油圧機器が伸長し、各工場の生産性向上も寄与したことから前年同期比増益となりました。

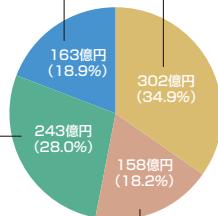
輸送用機器事業

輸送用機器事業の売上高は前年同期比1.5%増加の243億円、営業利益は同15.2%減少の23億円となりました。

鉄道車両関連機器は今年度が納入時期の谷間にあたるため、前年同期比減収となりましたが、自動車関連機器は前年同期並みに推移し、船用エンジン制御システムは順調に伸びたため、前年同期比増収となりました。



営業利益は一部の品質問題対応と、会計基準の変更による棚卸資産の評価損等により、前年同期比減益となりました。



セグメント別売上高
及び構成比率
(億円未満切り捨て)

産業用機器事業

産業用機器事業の売上高は前年同期比5.3%減少の158億円、営業利益は同49.8%減少の9億円となりました。

自動ドア関連分野は、国内市場の停滞により需要が減少しました。また、包装機械は売上が伸長しましたが、専用工作機は、自動車メーカーの設備投資の一部延期の影響を受け、前年同期比減収となりました。



営業利益は自動ドア関連の競争激化に伴う採算悪化等により、減益となりました。

F I N A N C I A L S T A T E M E N T S

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円、未満切り捨て)

	当中間期 H20.9.30現在	前期 H20.3.31現在	前中間期 H19.9.30現在
【資産の部】			
流動資産 ……………	102,734	99,237	97,242
現金及び預金……………	11,467	11,131	9,073
受取手形及び売掛金……………	46,511	46,641	48,805
有価証券……………	22,500	19,000	15,500
たな卸資産……………	18,412	18,421	20,534
その他……………	3,842	4,042	3,329
固定資産 ……………	65,081	64,079	67,361
有形固定資産……………	44,279	43,346	43,291
無形固定資産……………	1,546	1,382	1,102
投資その他の資産……………	19,255	19,350	22,967
投資有価証券……………	16,329	16,674	20,798
その他……………	2,925	2,676	2,168
資産合計 ……………	167,815	163,317	164,603

(単位:百万円、未満切り捨て)

	当中間期 H20.9.30現在	前期 H20.3.31現在	前中間期 H19.9.30現在
【負債の部】			
流動負債 ……………	60,179	58,182	56,412
支払手形及び買掛金……………	32,615	31,462	31,579
短期借入金……………	8,783	9,110	10,095
一年内返済予定の長期借入金……………	3,000	3,004	39
その他……………	15,781	14,605	14,697
固定負債 ……………	21,757	22,642	27,352
社債……………	11,000	11,000	11,000
長期借入金……………	—	—	3,000
退職給付引当金……………	9,755	10,504	11,052
その他……………	1,002	1,137	2,299
(負債合計) ……………	81,937	80,824	83,765
【純資産の部】			
株主資本 ……………	78,573	74,777	70,677
資本金……………	10,000	10,000	10,000
資本剰余金……………	17,489	17,500	17,528
利益剰余金……………	51,240	47,412	43,295
自己株式……………	△ 156	△ 135	△ 146
評価・換算差額等 ……………	1,630	2,642	5,785
その他有価証券評価差額金……………	1,488	2,189	5,569
繰延ヘッジ損益……………	6	6	△ 0
為替換算調整勘定……………	134	446	216
少数株主持分 ……………	5,674	5,071	4,375
(純資産合計) ……………	85,878	82,492	80,838
負債・純資産合計 ……………	167,815	163,317	164,603

連結損益計算書

(単位:百万円、未満切り捨て)

	当中間期 H20.9.30現在	前期 H20.3.31現在	前中間期 H19.9.30現在
売上高	86,813	174,254	84,057
売上原価	67,440	132,641	63,291
売上総利益	19,373	41,612	20,766
販売費及び一般管理費	11,171	22,182	11,118
営業利益	8,201	19,429	9,648
営業外収益	991	1,827	946
営業外費用	261	1,196	342
経常利益	8,932	20,061	10,252
特別利益	73	130	38
特別損失	652	1,758	612
税金等調整前中間(当期)純利益	8,354	18,432	9,678
法人税等	2,853	6,369	3,267
少数株主利益	646	1,037	519
中間(当期)純利益	4,853	11,025	5,890

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、未満切り捨て)

	当中間期 H20.9.30現在	前期 H20.3.31現在	前中間期 H19.9.30現在
I 営業活動による キャッシュ・フロー	9,320	18,249	7,130
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△3,950	△8,969	△5,090
III 財務活動による キャッシュ・フロー	△1,394	△5,748	△3,950
IV 現金及び現金同等物に 係る換算差額	△137	1	209
V 現金及び現金同等物の 増減額	3,837	3,533	△1,701
VI 現金及び現金同等物の 期首残高	29,722	26,188	26,188
VII 現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	33,559	29,722	24,487

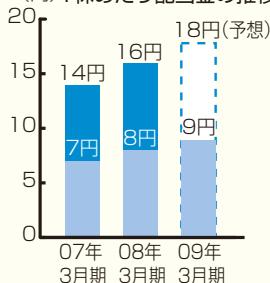
配当のお知らせ

【利益還元方針及び配当金】

当中間配当は、前中間配当に比べ1円増配し、1株あたり9円といたします。

当社は、当社グループ全体の業績をベースに、戦略的な成長投資、財務健全性の確保、株主還元のパランスを考慮した企業収益の適正な配分を図ってまいります。

(円) 1株あたり配当金の推移



配当金振込制度のご利用について

株主様ご所有の株式に対する配当金(中間配当金を含む)をご指定の預貯金口座へ直接ご入金する制度がございます。

この制度で、一度配当金の振込先をご指定いただけますと、今後の配当金をご指定の口座へ自動的に振込みいたします。

確実に配当金をお受取りいただけますので、振込口座をご指定いただいていない株主様につきましては、是非この配当金振込制度をご利用されることをおすすめいたします。

配当金振込制度をご利用される場合は、用紙請求専用フリーダイヤル ☎0120-87-2031にて「配当金振込指定書」をご請求いただき、お手続きくださいますようお願い申し上げます。

風力発電機用駆動装置の新工場を建設

当社は、油圧機器の主力工場である垂井工場（岐阜県不破郡垂井町）内に風力発電機用駆動装置の専用工場を建設しています。完成予定は、2009年4月です。

風力発電は、環境配慮によるクリーンエネルギー需要や原油高を背景に世界で年率20%以上の成長が続いている市場です。産業用ロボットの関節や建設機械の走行モーターなどで高い評価をいただいている当社独自の減速機機構による「風力発電機用駆動装置」は、風向きに応じて風車

の方向を制御する「YAW駆動装置」と風速に応じて羽根の角度を調整する「PITCH駆動装置」があり、耐衝撃性、コンパクト性、メンテナンス性に優れていることから、国内外での売上を伸ばしてまいりました。

垂井工場は建設機械用走行モーターの主力工場であり、これまで当工場の一部で行っていた風力発電機用駆動装置の生産工程を専用ライン化し、将来の更なる需要増に対応いたします。

【新工場の概要】

所在地：岐阜県不破郡垂井町御所野
当社垂井工場内

延床面積：9,000㎡（鉄骨造2階建）

投資額：初期投資額20億円
（累計36億円を予定）

売上高：2008年度見込35億円、
2014年度目標100億円

完成予定：2009年4月末
（稼働予定：2009年6月）



風力発電機用駆動装置



新型可動式ホーム柵が『2008年度 グッドデザイン賞』を受賞



当社製品「新型可動式ホーム柵」（2006年に発売開始）が、財団法人日本産業デザイン振興会の主催する2008年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

可動式ホーム柵は、駅のホーム端に設けられ、乗降客のホームからの転落や列車との接触を防止するため、乗降時に自動で開閉する装置です。

当社の可動式ホーム柵は、1978年初めて新幹線「新神戸駅」に採用されて以来、多摩モノレールや横浜市営地下鉄など国内外で数多くの設置実績があります。

新型可動式ホーム柵は、従来製品よりドア開閉装置を大

幅にコンパクト化することにより、ホーム柵全体のガラス面積を拡大し、透明性に優れたホーム柵を実現するという製品コンセプトが高く評価され、今回のグッドデザイン賞の受賞に至りました。

今回受賞したホーム柵は、これまで中国の北京地下鉄や天津地下鉄、重慶モノレール、また韓国のソウル地下鉄等に採用されています。

今回の受賞を契機に、可動式ホーム柵の高い安心感と優れたデザイン性のアピールを通じて国内および海外市場での、よりいっそうの拡販に努めてまいります。



天津地下鉄1号線



ソウルメトロ2号線

会社情報 (2008年9月30日現在)

会社概要

会社名：ナブテスコ株式会社	従業員数：単体 2,250人
設立：2003年9月29日	連結 3,995人
所在地：東京都港区海岸一丁目9番18号	連結子会社：国内15社(他持分法適用会社6社)
資本金：100億円	海外17社(他持分法適用会社2社)

役員構成

取締役会

代表取締役社長	松本和幸
代表取締役専務取締役	児山立平
常務取締役	佐和博
常務取締役	松田保
常務取締役	坪内繁樹
常務取締役	井上陽一
取締役	三代洋右
取締役	今村雄二郎
取締役	青井博之
取締役(社外)	川田豊 (非常勤)

監査役会

監査役	野上達夫
監査役	中村秀一
監査役(社外)	石丸哲也 (非常勤)
監査役(社外)	山田正彦 (非常勤)
監査役(社外)	三谷紘 (非常勤)

業務執行体制

最高経営責任者	松本和幸	執行役員	今村雄二郎 (ナブコカンパニー社長)
専務執行役員	児山立平 (鉄道カンパニー社長)	執行役員	坂元一則 (ナブテスコサービス(株)代表取締役社長)
常務執行役員	佐和博 (パワーコントロールカンパニー社長)	執行役員	瀬川卓真 (自動車カンパニー社長)
常務執行役員	松田保 (企画本部長兼総務・人事本部長)	執行役員	青井博之 (コンプライアンス本部長兼法務部長兼コンプライアンス推進部長)
常務執行役員	坪内繁樹 (精機カンパニー社長)	執行役員	古田博美 (自動車カンパニー副社長兼計画部長)
常務執行役員	井上陽一 (技術本部長)	執行役員	横山雄二 (ナブコドア(株)代表取締役社長)
執行役員	片多博 (航空宇宙カンパニー社長)	執行役員	橋本正孝 (技術本部開発企画部長)
執行役員	今村正夫 (船用カンパニー社長)	執行役員	坂本勉 (鉄道カンパニー計画部長)
執行役員	野村信一 (東洋自動機(株)代表取締役社長)	執行役員	上岡忠志 (パワーコントロールカンパニー生産統括部長)
執行役員	三代洋右 (企画本部副本部長兼企画部長)		

株式関連情報

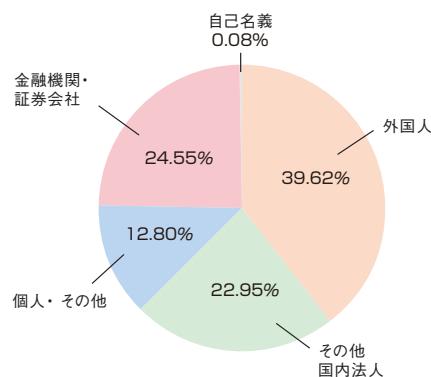
【株式の状況】

発行済株式の総数:127,212,607株 / 株主数:8,310名

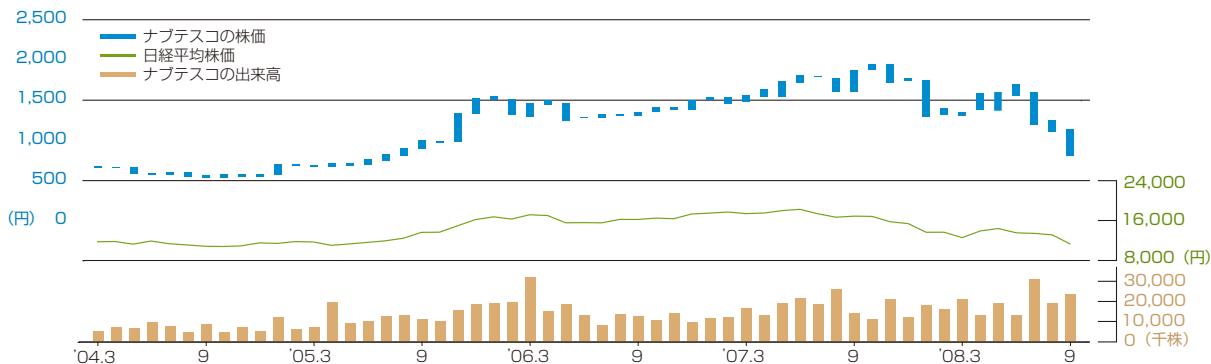
【大株主】(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	議決権 比率
株式会社 神戸製鋼所	15,100	12.01%
タイヨウ ファンド・エル・ピー	9,418	7.49%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,865	6.26%
帝人株式会社	6,935	5.52%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,987	3.97%
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント ジエイビーアールデイ アイエスジー エフイー エイシー	4,228	3.36%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・株式会社神戸製鋼所口)	4,011	3.19%
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ		
ロンドン エス エル オムニバス アカウンド	3,629	2.89%
株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ	3,265	2.60%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	3,058	2.43%

【所有者別株式数比率】



【株価・出来高(東京証券取引所)】



株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施されます。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

1.株券電子化後の未払配当金の支払のお申出先

これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。

2.株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先

①証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられている株主様…
お取引証券会社等

②証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様…
特別口座を開設する下記口座管理機関

なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受付できるのは、特別口座に登録される予定日であります平成21年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。

記

口 座 管 理 機 関：東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

同 じ 照 会 先：〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(郵便物送付先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

同 取 次 窓 口：中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

最新のIR情報をウェブサイトにてお伝えしています

当社は、株主や投資家の皆様向けにIRサイトを設けております。最新の決算情報や株価情報のほか、IR関連の資料をまとめてご覧いただける「IRライブラリー」や皆様から寄せられたご質問と回答をまとめた「よくあるご質問」など、豊富なコンテンツで株主や投資家の皆様への情報を充実させております。どうぞお気軽にアクセスしてみてください。

<http://www.nabtesco.com/ir>



株券電子化実施前後の単元未満株式の買取・買増請求のお取扱いについて

株券電子化制度への移行に伴い、ほふりに株券を預けられていない株主様に関しまして、以下の期間お取扱いを変更させていただきます。

1.単元未満株式の買取請求につきましては、平成20年12月25日(木曜日)から平成21年1月4日(日曜日)(実質平成20年12月30日(火曜日))までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日(月曜日)とさせていただきます(買取価格はご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日までに値が付かない場合は返却させていただきます。)。また、平成21年1月5日(月曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。

2.単元未満株式の買増請求につきましては、平成20年12月12日(金曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、受付を停止します。

なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しまして、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求・買増請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。

株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会：毎年6月下旬

基準日：定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人：東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所：〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(郵便物送付先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

同取次窓口：中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店